

b.mode株式会社



住所：青葉区本町 2-10-33 第二日本オフィスビル 9F
 TEL：022-796-2575
 E-mail：idea@b-mode.info
 URL：http://b-mode.info
 資本金：50千円 / 従業員数：9名
 事業内容：WEB サイト企画・制作・開発
 WEBマーケティング・各種デザイン



取組みの概要

- ・コロナの影響を受けて通勤及び社内での三密を避けるために全社員においてテレワークを実施して在宅勤務を可能とした就業体制の構築を行った。
- ・順次導入でほしい従業員の意見を聞きながらテレワークによる勤務を基本に調整している。
- ・また管理者に向けて現状課題の把握、改善策を導き出せる人材になるためのオンライン研修も行った。

テレワーク導入状況

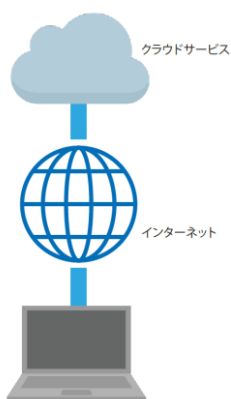
- ・**テレワーク実施人数** ①R2.11月現在実施人数：7名（社員の約7割） ②最大実施人数（R2.11月）：7名（社員の約7割）
 ③新型コロナウイルス感染症前の実施人数：0名
- ・**導入部署（最大導入時）**：創作部・マーケティング部・管理部（全部署）
- ・**システム方式** リモートデスクトップ方式 仮想デスクトップ方式 クラウド型アプリ方式 安全ファイル持出方式
ファイル持出方式（ネットドライブやVPN経由持出） その他（ ）
 ※参考資料：（一社）日本テレワーク協会「テレワーク関連ツール一覧第5版」 [\(PDFファイル：1.40MB\)](#)

テレワーク導入時の課題と解決方法

- ・セキュリティ面 → ルールや指針の策定
- ・テレワーク時のルールを準備

活用した機器・ツール・ソフト等

- ・ノートPC7台（うち5台新規購入）
- ・Dropbox
- ・googleドライブ
- ・googleドキュメント
- ・googleスプレッドシート
- ・ジョブカン勤怠管理
- ・zoom
- ・meet
- ・ChatWork
- ・Slack
- ・クラウドサイン
- ・（電話対応）ビジネスアシスト
- ・法人用携帯
- ・050アプリ



実施した効果及び課題

○テレワーク

【効果】

- ・移動時間の削減・有効活用
- ・事務所内のデスクなど社員の数だけ揃えなくていい
- ・業務へ集中することができる

【課題（解決方法）】

- ・コミュニケーションの希薄化・スタッフフォロー不足
 →常時接続（カメラやマイクのON・OFFは自由）の環境でコミュニケーションを取りやすくしたり、雑談を大事にさせた。
- ・書類の印刷・押印・郵送で出社
 →全て無くすことは難しいが、できるだけ無くすようにした。
- ・一部社員テレワークでの環境が整わない日などがある
 →各自の環境に合わせてテレワークと出社を自由に決められるようにした。

○オンライン研修

【効果】

- ・会場手配が不要になった。
- ・録画機能を利用し、振り返りや不参加の場合も後から確認可。

【課題】

- ・ワークや実技などを交えた研修は工夫が必要だと感じた。
- ・紙の資料が必要な場合、事前に準備し送らなければいけない。
- ・講師の方がホワイトボードなどを利用して説明する際は、離れたところにあるパソコンのマイクからでは声が届きにくいため、マイクなどが必要になる。

経営者のコメント

【テレワークを始める前の考えなど】

以前よりできるだけ働きやすい環境を整えていたため（出社時間を固定しない・希望があれば在宅勤務可など）大きな問題もなくテレワークを導入することができた。

【テレワーク実施後の感想など】

当社では社内で同じ場所に集まり何気ないコミュニケーションを取っていたことがいかに重要だったかを知ることができた。そのため、リモートの状況下でも気軽にコミュニケーションできる環境をこれからも整えていきたい。

【テレワークを導入する際のコツ、ポイント等】

出社して見える勤務態度や勤務時間などだけで社員を評価するのではなく、各社員や各部などがどうなることが一番望ましいのかを考え、それに対してどういう成果を上げているのか、どういう働きをしたのかに着目する必要がある。

社員のコメント

- ・出社・帰宅の時間を、育児や家事に当てることができた
- ・遠方のお客様への訪問がリモートになったことで、回数を増やすことができ、密に提案を進めることができる
- ・集中して業務に向かうことができる
- ・テレワークでの仕事する環境が整わない日がある（家族間での問題）
- ・きちんとしたデスクがないため、長時間の作業が疲れる